

イノシシ 捕獲用 電子わなの 試験導入も決定!

豚コレラで知られる「豚熱」対策に苦戦している岐阜県に強力助っ人が加わるかもしれない。12月議会で平野が一般質問で導入推進を推進すべきと提言したイノシシの「捕獲わなの電子化」が今年度にも試験導入される見込み。イノシシが捕獲されると携帯電話やパソコンに通知が来て、毎日の見回りや捕獲の効率の向上が期待できる。最新技術による「豚熱」の沈静化が期待される。

各務原市が悲願の 特別支援学校小・中等部 新設方針発表!

各務原市において長年の悲願であった特別支援学校（障がい児向けの支援学校）の小中等部の新設方針が12月の各務原市議会にて公表された。子育て世代の代表として平野祐也が当選以降取り組んで来た課題が解決に向けて動き出した。今後は市と県との間で調整が進むが、前回の一般質問で県に確認した「教員確保」に向けて引き続き県と話を進めて行く。



岐阜県議会議員 平野 タクイムズ

平野祐也のプロフィール



1984 (S59) 年12月生まれ
緑苑小▷緑陽中▷岐阜北高
▷名古屋大学法学部卒
▷三菱商事(東京・米国)11年勤務
▷2019年岐阜県議会議員(1期目)

2019年春、10才から夢みた政治家となり、明るい未来を創るためのスタートラインに立つ。サラリーマン家庭の男3人兄弟、次男。中学・高校時代はバスケットに熱中。大学時代は各務原市議会議員の下で議員インターンシップに参加。現在は妻、子供2人と鶴沼山崎町在住。

一般質問

① イノシシ捕獲用わなの電子化について質問

質問 豚熱対策において、ワクチン接種が解禁されたとは言え、ウイルスが消滅する訳ではなく、イノシシが媒介するウイルス蔓延対策は長期化する見込み。年間一万五千頭の年間捕獲目標を立てているが、猟友会も高齢化し、現場の負担は非常に大きい。そうした中で兵庫県や群馬県が県単位で狩猟民の電子化に取り組んでいる。岐阜県としてもイノシシ捕獲の省力化・効率化を図る為に導入を検討すべきと考えるがどうか。またわなの電子化講習を県内で開催すべきと考えるがどうか。

回答 岐阜県としても電子化わなの研究は進めて来たが、県としての導入にはまだ踏み切っていない。年度内に試験的に県として導入した上で効果を検証する。その上で来年度以降に県内への普及を検討していく。



右上の白い箱は電子装置です。

コラム

平野祐也は、わなの狩猟免許を保有しています。元々は野生鳥獣肉である「ジビエ」を日本で更に普及させたいという想いがありました。岐阜県は日本の中でも山林が多い県であり、イノシシや鹿の獣害対策に苦しんでいます。それを逆転の発想で岐阜県の魅力に変えたいと思います。イノシシは昔、緑苑小の裏山にいたり、鶴沼にもぼたん鍋のお店があったりと身近な存在でした。将来的には今は悪役となったイノシシの面目躍如に期待しています。

【初の県政報告会開催!】



県政報告会で熱弁する平野

12月7日に当選後初の県政報告会を鶴沼の真墨田神社にて開催しました。当日は想定を大幅に超える方々に集まって頂き、会場は熱気に溢れていました。「いつでもどこでも、誰にでも」をモットーにどの年代にも分かりやすく県政報告会を開催して行きたいと思えます。ご興味がありましたら平野を呼んでやって頂けませんか? 直接熱い想いを語りさせて下さい!

政治家二ぼれ話

【一般質問編】

議員の仕事が分かりやすく皆さんに伝える機会、それが議会で執行部に対して行う「一般質問」です。これまで2回行いましたが、演台からの景色は普段と違ってとても緊張します。また演台に立つと質問者にしか見えないタイマーで持ち時間がカウントされ、それがまた緊張に拍車を掛けます。良く聞かれるのが、「どうやって内容を作るのか」です。誰かに「これをやれ」とか、県庁職員に内容を渡される訳では有りません。一般質問で言いたいことを言っても予算が無いと実現できないため、理想や夢を語ることも重要ですがバランスが難しいです。よくマスコミで議会の発言回数を取り沙汰されます。発言しない人の中には、「一般質問をしなければ予算が動かせない人」もいますので議会の発言回数では測れません。政治家にはパフォーマンスも必要です。有権者からよく見えるのは議場の活動なので難しい所です。皆さんが求める政治家はこんな政治家でしょうか。平野祐也は「理想と夢を語りつつ、結果を分かりやすく伝える政治家」になりたいと決意していますが、道のりは長いです..。

発行日
2020年 冬号
発行人
平野祐也を育てる会

平野祐也 最近の活動は
で検索!

各務原から
創ろう。の
岐阜県の
未来を。

QRコード

ホームページ



皆さん、空飛ぶ自動車と聞いてどう思いますか？「夢物語？」「怖くて乗らない？」色んな意見が有ると思いますが、今世界ではこの分野が実現に向けて本気で動き出しています。日本は少し出遅れていますが、政府は「未来投資戦略2018」で空飛ぶクルマの実現を目指す方針を示し、早ければ2020年の東京オリンピックでお披露目される可能性も有ります。経済産業省と国土交通省が手を組んで、空飛ぶ自動車の実現に向けたロードマップをまとめました。岐阜県のように山林の多い地域は道路を建設することも多額のコストが掛かります。渋滞や交通

【未来技術】 空飛ぶ自動車

事故を考えると空に新たな道を作り、移動手段を確保することは特に日本のような狭い島国に向いているかもしれません。岐阜県にもドクターヘリが導入されていますが、救急車の様な一刻を争う様な乗り物や、陸の孤島と言われる様な地域への輸送を担う等、社会的な需要も大きそうです。直近では、1月8日にアメリカで開催された世界最大の技術見本市「CES」においては空飛ぶタクシーが現実的なものとなり航空機メーカー、ベンチャー企業、自動車メーカーが入り乱れて開発が進んでいます。航空宇宙産業が盛んな各務原市にも空飛ぶ自動車メーカーが出て来て欲しいと期待しています！



東大のファウンドエックスに潜入

最近起業したくても、大学の授業や研究室で起業の準備は出来ず、学生は「居場所」に困っています。折しも今年には名古屋大と岐阜大の経営統合が行われます。岐阜県に「起業家虎の穴」を創って、50年後には「ギフトコンバレー」が出来たらと願っています。地域名は募集中ですので良いアイデアがあればお願いします！



岐阜にもこんなアリーナを作りたい！

音楽、スポーツの聖地 「アリーナ」を岐阜に！

日本では古くから、野球の聖地「甲子園」、サッカーの聖地「国立」等、屋外スポーツには聖地が有ります。一方、音楽では「武道館」なのか「ドーム」なのか、体育館では「代々木」なのか、「さいたまスーパーアリーナ」なのか、屋内モノとなると意見が分かれます。平野祐也はアメリカのニューヨークに仕事で駐在していましたが、アメリカには「マディソン・スクウェア・ガーデン」という誰もが認める音楽と屋内スポーツの聖地が有ります。日本の体育館は観客向けに作られておらず、「魅せる」「稼ぐ」という要素が少ないです。



究極のアリーナは国技館！？

「武道館」だって「ドーム」だって音楽の為に作られた訳では有りません。岐阜県にはバスケット・卓球・バドミントン・ハンドボールと日本トップレベルの屋内競技が多いです。最近では「モノ消費からコト消費」に代わり、音楽ライブやスポーツ観戦者数はテレビ中継が減ってもどんどん増えています。嵐の最後のコンサートやアメリカのプロバスケの試合会場が岐阜県にあたらと思うとワクワクしませんか？岐阜県にも音楽のライブやプロスポーツの聖地を目指せるような「アリーナ」を作ることが僕の夢です。

文化・スポーツ

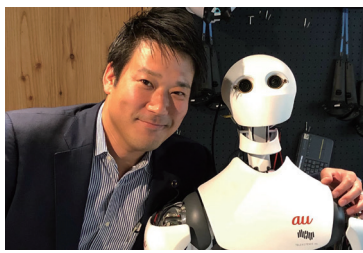
平野祐也の岐阜 未来タイムズ



経済

岐阜コンバレー!?

皆さん、アメリカの「シリコンバレー」という地域をご存知ですか？今をときめく「アップル」「アマゾン」「グーグル」といった巨大企業が産まれた町です。このシリコンバレーは都市名ではなくて、「美濃地方」のように地域を表す名前です。まだ名前が付いてから50年ほどです。ニューヨークでもロスでもなく、サンフランシスコから一時間程度の不便な所にあります。東京でも大阪でもなく、名古屋から一時間以内で行ける…。まさに岐阜県のような位置です(笑)



ロボットベンチャーが開発する分身ロボ